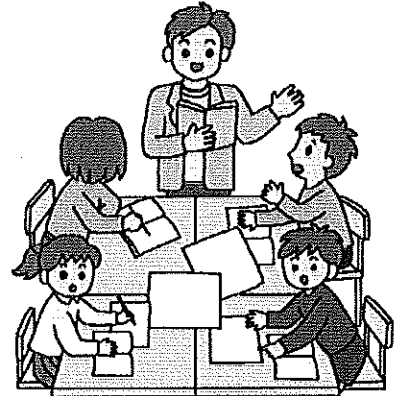


授業改善に向けたQ & A

Q0 一人一人が大切にされる授業づくりでポイントになることは何ですか。

Q1 ①本時の目標、②本時のめあて、③評価の3つは、同じ文言になるのですか。

Q2 本時案の中で「徹底指導・能動型学習」を縦軸で特化して記述していましたが、これに加え、「徹底指導のポイント」、「能動型学習のポイント」、「言語活動の意図」を本時案に示すと重なるのではないのでしょうか。



Q3 評価規準と評価基準は、どのように作成すればいいのですか。

Q4 評価基準を設定し、授業を行う際に留意する点は何ですか。

Q5 徹底指導のポイントは、何ですか。

Q6 能動型学習のポイントは、何ですか。

Q7 徹底指導と能動型学習とのめりはり(1単位時間)とはどんなことですか。

Q8 1時間の全てが徹底指導だったり、能動型学習であったりすることはあり得るのでしょうか。

Q9 児童生徒が調べたことを発表する授業がありますが、このような発表形式の授業は能動的な学習なのでしょうか。

Q10 本時案には、どのように「言語活動設定の意図」を記述すればいいのですか。



【確かな学力の育成に向けて】

【確かな学力】

- ① 生涯学習の基盤となる基礎的な知識及び技能を習得させること。
- ② 基礎的な知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力をはぐくむこと。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度を養うこと。

(学校教育法第30条第2項)

【平成25年度阿蘇教育事務所管内 努力事項及び重点指導事項】

確かな学力の育成

～「阿蘇郡市学力向上対策会議」の提言に基づいた学力充実の取組～

- (1) 本時の目標・学習活動・評価の関連を重視した学習指導の改善（「授業改善に向けたQ&A」の活用）
- (2) ① ゆうチャレンジや全国学力・学習状況調査等の結果分析に基づく授業改善の推進（平成24年度熊本県学力調査結果報告書・ゆうチャレンジ 単元別評価問題の活用）
② 教科等の目標の実現に向けた言語活動の充実
- (3) ① 家庭学習の定着と、学習意欲を喚起するための指導の工夫
② 家庭・地域との連携を図った小学校低学年からの基礎学力向上の取組の推進
- (4) ① 学校図書館による主体的な学習活動や読書活動に向けた指導の充実
② 学校図書館等における言語環境の整備・充実

Q0 一人一人が大切にされる授業づくりでポイントになることは何ですか。

A0 一人一人が大切にされる授業には、一人一人が活躍する場があり、「学び合う」ための態度ができていて、自他のよさを認め合えるあたたかい雰囲気があります。

ポイントは、①自己存在感を持たせる支援の工夫
②共感的人間関係を育成する支援の工夫
③自己選択・決定の場を工夫して設定すること
④環境づくり です。



具体的には、以下のような内容に日常的に取り組むことが考えられます。

①自己存在感を持たせる支援の工夫

- ・「自分は必要とされている」という実感を持たせるための工夫をする。
- ・教師は、機会をとらえ認め、ほめ、励ます言葉かけをし、児童生徒を伸ばす。
- ・達成感や成就感を高めるように作品等への評価をする。(教師から、友だちから)
- ・他者の発言を最後まで聴く習慣づくり(話し方・聴き方スキル等の提示)

②共感的人間関係を育成する支援の工夫

- ・信頼し、互いを尊重し合えるあたたかい人間関係づくりに取り組む。(支持的風土の学級集団づくり)
- ・多くの思いや考えを出し合い、互いに考えを高め合う学習活動を工夫する。

③自己選択・決定の場を工夫して設定すること

- ・児童生徒の実態を踏まえて多様な教材・教具を準備し、選択の幅を与える。
- ・学習内容に応じた学習形態や活動の場を多様に提示し、選択の幅を与える。

④環境づくり

- ・安心して生活、学習できるように、学習内容の振り返りやポイント等を掲示する。
- ・発見する喜びを味わえる場を設定する。(喜びや感動、疑問などを級友に知らせるコーナー等) 掲示の活用、係活動の工夫、朝の会、帰りの会等の活用)

「学び合い」の掲示資料 例

◆聴くとき

- 話し手に体を向けて聞く。
- 話し手の発表を最後まで聞く。
- 友だちの考えと比べながら、共通点、相違点を見つけ、反応しながら聞く。
- ※うなずきながら聴く。

◆話すとき

- 多くの友だちがいる方を向いて話す。
- ふさわしい声の大きさと話す。
- ていねいな言葉を使う。

◆自分の意見を言うとき

- 私は○○だと思います。理由は・・・だからです。
- 少し違う考えがあります。
- さんに付け足して・・・

◆質問するとき

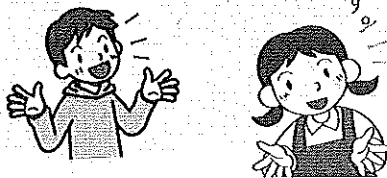
- さんに質問があります。
- さんの質問に答えます。
- さんの意見を聞いて思ったのですが
- さんが言いたいことは、・・・ということだと思います。

◆困ったとき

- わからなくなりました。
- 忘れてしまったので

*だれか、お願いします。
*少し時間を下さい。

★「学び合い」のルールは、学級の児童生徒とともに作り上げていくものです。



【一人一人が大切にされる授業づくりの参考資料】

平成24年度熊本県教育委員会 人権教育推進資料より抜粋

1 人権が尊重される授業づくり

人権教育の推進に当たり、日々の授業における活動の一つ一つが、人権尊重の雰囲気醸成の上での重要な要素となる。授業の実施に際し、教員は、児童生徒の言葉や行動の内容の是非を性急に判断するのではなく、その背後にある心情や意味を理解するよう心がける必要がある。

授業中には、児童生徒の発言や活動の様子を観察し、常に、受容的・共感的な姿勢・態度で接することが求められる。さらに、児童生徒が有用感・成就感を実感できるよう、互いのよさや可能性を認め合う活動を意図的に仕組んでいくことも大切である。

【参考】人権が尊重される授業づくりの視点例

《視点》○自己存在感を持たせる支援を工夫する。

ねらい	ポイント・留意点
「授業に参加している」という実感を持たせる。	<input type="checkbox"/> 学習内容や活動に応じた座席の工夫や発問・応答のパターンの工夫を行う。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の既習事項や生活体験、興味・関心等を把握し、様々な視点から解決できるように課題設定の工夫を行う。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の学習意欲や習熟の度合いを把握し、課題（教材）を複数準備したり、ヒントカードを与えたりする。 <input type="checkbox"/> 結果にこだわらず、思考過程や学習過程を認める。
「自分が必要とされている」という実感を持たせる。	<input type="checkbox"/> 意図的な指名等、一人一人が活躍する場や課題を工夫する。 <input type="checkbox"/> 自由な発想や方法が認められたり、自己選択できる場を工夫する。 <input type="checkbox"/> 互いの発言を最後まで聴く習慣や誤答を大切にしている習慣を身に付けさせる。 <input type="checkbox"/> 協力して活動できる場を工夫し、互いの考えや方法のよさに気付かせる。
教師自身が一人一人を大切にしている姿勢を示す。	<input type="checkbox"/> 一人一人の名前を呼び、目を見て話す。話をよく聴く。 <input type="checkbox"/> 発言しない児童生徒に配慮するとともに、適切な支援を行う。 <input type="checkbox"/> 承認・賞賛・励ましの言葉をかけ、個に応じた改善課題や改善方法を示す。

《視点》○共感的人間関係を育成する支援を工夫する。

「自分が受け入れられている」と実感できる雰囲気をつくる。	<input type="checkbox"/> 「誰にでも失敗はある」、「誰もがよさや弱さを持っている」という認識に立って、互いを尊重し合う人間関係づくりを行う。 <input type="checkbox"/> 一人一人が自由に発言できる雰囲気づくりを行う。 <input type="checkbox"/> 教師の意図と異なる考えを抑圧したり切り捨てたりしない。
------------------------------	--

<p>「共に学び合う仲間だ」と実感できる雰囲気をつくる。</p>	<p><input type="checkbox"/>他者の発言や作品のよさに気づき、学ぼうとする態度を育てる。 <input type="checkbox"/>自分の考えと異なる意見や感情を拒絶せず、それを理解する技能を育てる。 <input type="checkbox"/>他者の気持ちや立場を考えて自分の言動を選択・構成する態度を育てる。 <input type="checkbox"/>互いの役割や責任を認め合う態度を育てる。</p>
<p>《視点》○自己選択・決定の場を工夫して設定する。</p>	
<p>学習課題や計画を選択する機会を提供する。</p>	<p><input type="checkbox"/>発達段階に応じて、複数の学習課題の中から自分にあった課題を選択する機会を設定する。 <input type="checkbox"/>発達段階に応じて、学習の見通しをもって計画を立てるための支援を行う。</p>
<p>学習内容、学習教材を選択する機会を提供する。</p>	<p><input type="checkbox"/>児童生徒の実態を踏まえて多様な教材・教具を準備し、選択の幅を与える。 <input type="checkbox"/>自分の習熟の度合いや興味・関心に基づいて、教材・教具を選択できる場を設定する。</p>
<p>学習方法を選択する機会を提供する。</p>	<p><input type="checkbox"/>児童生徒の実態を踏まえて児童生徒の実態や学習内容に応じた学習方法を提示し、選択の幅を与える。 <input type="checkbox"/>課題解決のための情報や資料を準備し、その活用方法について適宜助言する。 <input type="checkbox"/>ワークシートやノート整理の方法、学習内容のファイルの仕方を助言する。</p>
<p>表現方法を選択する機会を提供する。</p>	<p><input type="checkbox"/>児童生徒の実態を踏まえて多様な表現方法を提示し、選択の幅を与える。 <input type="checkbox"/>考えをまとめるための多様な学習ノートを準備する。 <input type="checkbox"/>相手や内容に応じた表現ができるよう、多様な表現スキルを提示する。</p>
<p>学習形態や場を選択する機会を提供する。</p>	<p><input type="checkbox"/>児童生徒の実態や学習内容に応じた学習形態や活動の場を多様に提示し、選択の幅を与える。 <input type="checkbox"/>自分の課題や方法に基づいて活動内容や場所を選択する機会を設定する。</p>
<p>振り返りの方法を選択し、互いの学びを交流する機会を提供する。</p>	<p><input type="checkbox"/>児童生徒の実態や学習内容に応じた学習成果のまとめ方を多様に提示し、選択の幅を与える。 <input type="checkbox"/>自他の学習課題や解決方法、学習の仕方やまとめ方等を振り返り、交流する時間を設定する。 <input type="checkbox"/>他者の成果に学ぶとともに、今後の学習課題や方法について選択・決定できる場を工夫する。</p>

2 人権尊重の視点に立った環境づくり

人権尊重の「環境づくり」は、学校全体の雰囲気そのものにかかわるものであり、こうした雰囲気は、教職員の日常的な言動の在り方や、教職員と児童生徒の間、児童生徒同士の間の人間関係の在り方等によって形作られるものである。

さらに、日々の学級経営においては、教室が、安心して過ごせ、学べる場となるよう、人権尊重の視点に立った教室環境の整備に努めることが重要である。

【参考】人権尊重の視点に立った教室環境づくりの視点と取組例

取 組	内 容
①人間関係を深め、安心して生活・学習ができる場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○前面に、学級目標（目指す子ども像）を掲示する。また、それを児童生徒の自画像で囲むなどして、一人一人の帰属感を高める。 ○「学級の歴史」コーナーを設置し、一人一人が学級づくりに参画している実感を持たせる。 ○「今月の誕生日」、「私の好きな言葉」、「本や音楽の紹介」等のコーナーを設け、児童生徒の相互理解や交流を深めるきっかけとする。 ○学級組織（係）ごとのコーナーを設け、学級への願いや要望、よりよい学級生活をつくるための問題提起を行う。 ○「気持ちを表す言葉」、「聞き方・話し方のスキル」など、コミュニケーションを円滑にするための手がかりとなるポスターを示す。 ○学習で使ったものや学習内容の要点を示す掲示物を貼り出し、学習内容の振り返りや、課題解決のヒントとして活用する。 ○いつでも活用できるように、辞書や事典類を常備しておく。 ○学習の成果物（作品等）を掲示する。その際、児童生徒自身の解説や評価（自己評価、他者評価）、教師の評語を添え、達成感や有用感、肯定的なセルフイメージの形成を図る。
②課題意識を高める場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒に話題を提供したり、問題意識を喚起したりするような情報を教師が意図的に掲示する。 ○学習内容に沿ったクイズやコラムなどを掲示したり、児童生徒が関心を持った時事的・社会的な情報を掲示する「切り抜きコーナー」を設置したりして、日常の学習を広げたり、学習課題設定のきっかけにしたりする。
③発見の喜びを味わえる場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒が集めた情報の中から、喜びや感動、疑問や怒りを感じたことを級友に知らせるコーナーを設置し、帰りの会等で発表させる。 ○小動物や昆虫、植物の飼育・栽培活動を通じ、生き物の成長の過程に直接触れさせ、発見したり、疑問を持ったりしたことを記録・発表させる。
④創造する喜びを味わえる場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒が共同作業をすることのできる作業台（広めの机）を設置したり、筆記具・文房具を常備したりして、自発的・創造的な協働作業を促す。 ○詩や絵などを自由に発表することのできるコーナーを設置する。

Q 1 ①本時の目標、②本時のめあて、③評価の3つは、同じ文言になるのですか。

A 1 同じ文言になることはほとんどありません。

ポイントは、この3つの関連性をもたせることです。

○本時の目標…子どもの実態から、取り組ませる学習活動や身に付けさせたい力（子どもの姿で記入する）

○本時のめあて…子どもが追究するめあて

本時のめあて（子ども）を追究していけば、本時の目標（教師）の達成につながります。



A 2 <小学校第4学年算数科（面積）の指導例>

【本時の目標】

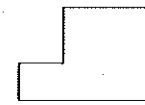
正方形や長方形の面積の求め方を利用して、L字型の図形の面積をもとめることができる。

【本時のめあて】

図のようなL字型の図形の面積の求め方を考えよう。

問題

下の図形の面積はどのようにして求めるといいかな。



【評価】

L字型の図形の面積の求め方を、既習事項である長方形や正方形の面積の求め方に帰着して考え、ノートに記述している。
(評価基準：B基準)

※評価基準は、原則として、文末は「～している。」で表現する。

※A基準（例）面積の求め方はいろいろあることに気付き、多様な求め方を考えノートに記述している。

※B基準に達していない児童への手だてを書く。

Q 2 本時案の中で「徹底指導・能動型学習」を縦軸で特化して記述していましたが、これに加え、「徹底指導のポイント」、「能動型学習のポイント」、「言語活動の意図」を本時案に示すと重なるのではないのでしょうか。

A 2 「徹底・能動」を縦軸で特化して記述する必要はありません。

これまで、全ての学習活動を徹底指導とするのか、あるいは、能動型学習とするのか、縦軸で特化して示していましたが、「H25年度新任教師の皆さんへ（初任者の手引き）」や「学習指導の一層の充実に向けて（H23.4 熊本県教育委員会）」の中で示された学習指導案の形式案には、記述されていません。

1時間の学習指導の中で、徹底指導と能動型学習のポイントを指導者がしっかり意識して、授業の質を高めていくことが大切です。

(例)

6 本時の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	備考
		図のようなL字型の面積の求め方を考えよう	<p>徹底 ○……………</p> <p>徹底指導 (ポイント)</p> <p>◎……………</p> <p>能動 ○……………</p>	<p>問題</p> <p>下の図形の面積はどのようにして求めるといいかな。</p>

記述する必要なし

Q 3 評価規準と評価基準は、どのように作成すればいいのですか。

A 3 評価規準・・・単元(題材)
評価基準・・・各時間ごと (より精度の高いものさし)

評価規準は、国立教育政策研究所作成の「評価規準の作成のための参考資料(H22.11)」を参考にして単元(題材)として作成します。また、評価基準は、参考資料に示された評価規準を実際の授業で活用できるように、目標の実現状況を具体的な子どもの姿として各時間ごとに設定します。

評価基準は、教科等や単元(題材)の特質に応じて、場合によっては、1時間毎ではなく、内容のまとまり毎の設定も可能です。

第4学年 算数科学習指導案(例)

平成25年〇月〇日(曜)第〇校時
 指導者 教諭 〇〇〇〇印

- 1 単元名(主題名・題材名)
- 2 単元(主題・題材)について
 題材観・系統的位置付け・児童の実態・指導観
- 3 単元(主題・題材)の目標
- 4 単元の評価規準(国立教育政策研究所作成の「評価規準の設定例」)

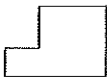
算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形について の技能	数量や図形について の知識・理解

5 単元の指導計画及び評価基準

次	時	学習活動	指導上の留意点	関	思	技	知	評価基準及び評価方法
					○			

6 本時の学習

- (1) 本時の目標(児童生徒の立場からの記述)
- (2) 本時の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	備考
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 図のようなL字型の面積の求め方を考えよう </div>	○・・・・・・・・ 徹底指導(ポイント) ◎・・・・・・・・ ○・・・・・・・・	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 問題 下の図形の面積はどのようにして求めるといいかな。  </div>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 【言語活動】(ねらい) ・・・・・・・・ ・・・・・・・・ </div>	○・・・・・・・・ 能動型学習(ポイント) ◎・・・・・・・・	
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 評価【数学的な考え方】 ・・・・・・・・ </div>	

Q 4 評価基準を設定し、授業を行う際に留意する点は何ですか。

A 4 基本的に次のような手順で行うことが大切です。

- ① 学習指導要領を基に、単元の目標を設定する。
- ② 単元の目標を踏まえ、「参考資料」の「評価基準の設定例」等を参考に、単元の評価基準を作成する。
- ③ 単元の評価基準を踏まえ、単元の指導計画及び各時間の評価基準（B基準）を設定する。
- ④ 本時の展開に当たっては、どの場面でどのような方法で評価するのか明確にする。

Q 5 徹底指導のポイントは、何ですか。

A 5 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るために、「何をどのようにして徹底させるのか」を明確にすることです。

具体的には、

- ① 基礎的・基本的な知識・技能を明らかにし、どの部分を徹底するのかを考える。
- ② どのような方法で徹底を図るのかを考える。
- ③ 徹底したことをどのように見極めるのかを考える。
などが必要になります。



Q 6 能動型学習のポイントは、何ですか。

A 6 能動型学習のポイントとしては、次の3点です。

- ① 児童・生徒の様々な反応を想定する。
- ② 児童・生徒が自ら考え、問題解決に主体的に取り組む内容になっているか見極める。
- ③ そのための「具体的な手立て」を明確に位置付けているか見極める。



Q 7 徹底指導と能動型学習とのめりはり（1単位時間）とはどんなことですか。



A 7 1時間における徹底指導と能動型学習の内容を整理し、両者の位置付けを明確にすることです。そのためには、徹底指導と能動型学習それぞれのポイントを指導案に位置付けることが大切になっています。

Q 8 1時間の全てが徹底指導だったり、能動型学習であったりすることはあり得るのでしょうか。

A 8 あり得ます。

ただし、徹底指導と能動型学習のめりはりのある熊本型授業が前提となります。

指導者としては、「めりはりのある授業（熊本型授業）にするにはどうすればいいか」を常に意識しておくことが大切です。



Q 9 子どもたちが調べたことを発表する授業がありますが、このような発表形式の授業は能動的な学習なのでしょうか。

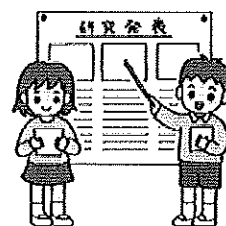
A 9 内容次第です。

能動型学習の中心は問題解決的な学習です。この場合、能動的な学習であるのかの見極めとして、次の2点が考えられます。

① 学習課題が明確であったか。

② その解決のために子どもたちが能動的に活動したか。

ここでいう活動は、発表活動に重点をおいたものではなく、練り合いや高まりにつながるものにならなければなりません。これ以外にも、発表後の意見交換などで見直しをしたり、更なる方向性を見出したりする活動などもあります。



Q 10 本時案には、どのように「言語活動設定の意図」を記述すればいいのですか。

A 10 次の2点です。

① 言語活動の内容

② その活動によって児童・生徒にどんな力を付けようとするのか

何より言語活動は、各教科等の目標達成、特に、思考力・判断力・表現力を育てるための学習手段になるものです。

